

誠実さを基にリーダーシップを発揮する年 テラデータ・コーポレーション 行動規範

目次

誠実であること

リーダーからのメッセージ

規範の支持

規範に従わなければならないのは誰か
行動規範への当社のコミットメント
倫理的な意思決定のために、規範を使用すること
ガイダンスを求めると、違反を報告すること
違反の疑いに関する報告を調査すること
報復の禁止
マネジャーの特別な責任

お互いへの説明責任

多様性、公平性および一体性
差別、ハラスメント、いじめの禁止
利害対立の回避
職場安全衛生
会社の資産の利用

一般の人々へのリーチアウト

正確な記録を残すこと
ソーシャルメッセージ、IT、ネットワークシステム
インサイダー取引
外部企業とのコミュニケーション
政治的な貢献と慈善活動

当社のコミットメントを掲げること

贈収賄・汚職に対するゼロ・トレランス(完全非容認)
輸出・輸入コンプライアンス
贈り物と接待
環境安全衛生コンプライアンス
社会的責任と人権

イノベーションの追求

機密情報
第三者知的財産権
テラデータ認定プロフェッショナルプログラム
プライバシーとデータの保護
AI(人工知能)

業界のトップにのぼること

公正に競う
業界団体や展示会に参加する
顧客と公正な関係を保つ
市場支配力を乱用しない
ビジネス・インテリジェンス

倫理・コンプライアンスの連絡先およびリソース

「テラデータ行動規範」(以下「本規範」という)は、テラデータの全従業員およびチームが遵守すべき行動基準をまとめたものです。この規範は、私たちの仕事に関係する法的あるいは倫理的な責任に対応する方法を理解するのに役立つものです。また、テラデータが誰もが従うことのできる明確で一貫したルールを実現するのに役立つものでもあります。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

規範はごく一般的な概要にすぎません。数多くのポリシーが、規範に限らずテラデータの広報ならどこでも参照できます。これらのポリシーでは、要求事項がより詳しく定められています。違反の疑いのあるものの報告についても説明しています。行動を取る前に、ぜひ質問をして、当社の規範やポリシー、法的要件に従うことに関

する明白な回答を得るようにしてください。本規範は、顧客および市場志向、実行における機敏性、相互の説明責任という当社の基本原則と整合性を保って適用されるべきです。

当社の規範は全テラデータ・ピープルおよび組織に国際的に適用されます。

当文書では、「テラデータ」はテラデータ・コーポレーションおよびそのすべての世界中の子会社、関連会社、企業組織、チーム、業務を指します。テラデータの「社員」とは、テラデータの従業員、契約社員、下請業者、派遣社員、代理業者、代表者、役員、取締役をすべて含みます。

テラデータの「ビジネスパートナー」とは、テラデータのサプライヤー、ベンダー、再販業者、流通業者、提携先、サービスプロバイダー、その他のテラデータが共に事業を行っているあるいは行う予定の第三者をすべて含みます。テラデータ・「ピープル」とは、世界中のテラデータのすべての「社員」およびテラデータのすべての「ビジネスパートナー」のことです。

テラデータグローバルポリシー

テラデータの従業員は、当社のグローバルポリシーウェブサイト(<https://teradata.sharepoint.com/teams/policy>)にアクセスすることができ、そこには規範で言及されている各ポリシーが掲載されています。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

誠実であること

自律型 AI におけるテラデータのリーダーシップを推進する中での、倫理への継続的な取り組み AI がかつてないスピードで進化し、組織の運営、イノベーション、競争の在り方を一変させようとしている今、私たちは決定的な分岐点に立っています。テラデータは、自律型ナレッジプラットフォームを擁する当社こそが、この時代をリードする唯一無二の立場にあると確信しています。当社が実現するエージェント型 AI 機能は、企業が AI の自律性からビジネス成果を迅速かつインテリジェントに、そして安全に実現することを支援します。

今後の機会は計り知れませんが、私たちの成功は、いかにして目標を達成するかにかかっていることを認識しています。テラデータの強固な倫理文化は、相互の説明責任、実行における俊敏性、そして顧客と市場主導という「中核原則」に沿った日々の意思決定を通じて築かれています。「テラデータ行動規範」は、私たちの計画、実行、そして顧客、パートナー、株主、サプライヤー、そして何よりも社員同士との関わりにおいて、引き続き指針となっています。

誠実さは、テラデータの全従業員が共有する責任です。当社の取締役会および経営陣は、グローバル組織全体において、倫理的な行動、透明性、説明責任を積極的に強化することに揺るぎない決意を持っています。テラデータにおけるあらゆる活動の中心に、倫理、コンプライアンス、そして誠実さが据え続けられるよう、皆様のご協力に感謝いたします。 Steve McMillan

社長兼 CEO

テラデータ・コーポレーション

Jessica Roberts

法務・コーポレート担当副社長、最高倫理・コンプライアンス・プライバシー責任者、雇用・訴訟担当主任顧問

規範の支持

当社の規範は、テラデータが社員、パートナー、そしてより幅広いチームに期待するものを示しています。私たちは、正しい行いをするを信頼されています。私たちは、行動する前に質問をし答えを得ることによって、そして不正行為に対して立ち向かうことによって、信頼を得ます。スマートで正しい形で事業を行う、顧客献身型の情熱的な企業であるという、会社の評判を守ることによって、信頼を得るのです。そして信頼を得ることで、私たちは、当社と、当社の株主、ビジネスパートナー、コミュニティ、顧客にとって明るい未来を構築し続けるのです。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

もし何かが正しくないように感じるとき、正しくないように思えるとき、正しくないように見えるとき、正しくないように聞こえるとき、私たちは質問をせねばなりません。もし当社の規範とポリシーが懸念にはっきりと対処していないときには、別のソースで指針を探さねばなりません。私たちは正しい行いをすることで、継続的に信頼を得て、それを確かなものにしていかねばなりません。

規範に従わなければならないのは誰か

テラデータ規範は世界中の全テラデータチームに適用されます。私たちはまた、当社のビジネスパートナーにも、テラデータと関わる事業活動を行う際には必ず当社の行動基準を遵守してもらいたいと考えています。

テラデータの子会社、関連会社、企業組織、業務、チームは、当社の規範を補完する付加的な規範の実施を定めてもよいものとします。補完的な規範があなたに適用される場合、常に厳しいほうの規範に従ってください。そうすれば当社の規範とチーム(あるいはあなたの役割における)特定の基準の両方を遵守することになります。

当社の規範を日常生活に組み込むことで、当社が正しい形で事業を行うことを確実にすることになります。当社の規範に従って成立する原則や基準に反して行動する者は誰でも、地域の条例に従って、解雇を含むそれ以下の懲戒の対象となります。

行動規範への当社のコミットメント

私たちは倫理的に行動し、規範とポリシーに従います。

私たちは基本原則を守る指針として規範を使用します。

私たちはすべての人に敬意を持って接します。

私たちは法を遵守します。

私たちは公正な競争を行います。

私たちは利害の対立を回避します。

私たちは資産を保護します。

私たちはデータと個人情報を守ります。

私たちは正確な記録を残します。

私たちは一貫して規範とポリシーを適用します。

私たちは誠意を持って懸念を表明した者に対する報復を禁止します。

私たちはガイダンスを求め、懸念と違反を報告します。

私たちは、常に正しい行いをいたします。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

倫理的な意思決定のために、規範を使用すること

当社の規範が、テラデータが事業をどのように実施するかという基準を作ります。しかしながら、当社の規範とポリシーは、倫理的な行為のためのガイドでしかありません。すべての起こりうる状況やテラデータの人員が直面するかもしれない問題のひとつひとつを網羅することはできません。もしあなたが正しい行いについて迷いがある場合には、質問しなくてはなりません。何が正しいか迷うときには、行動を起こす前に答えを得よう、倫理が私たちが動かしてくれるのです。

特殊な場合には、当社の規範あるいはポリシーを個人的な状況により適用しないあるいは変更することが適切になることが考えられます。あるひとつの事柄を行うことが違反となるが、別の事柄を行う(あるいは何もしない)ことも違反となる、もしくは規定が作成されたのちに法的条件が変更になったということもあります。このような倫理的ジレンマや矛盾が生じていると思われる状況に遭遇した場合は、直ちに問題を提起する必要があります。下記の「ガイダンスを求めると、違反を報告すること」を参照してください。重要なのは、もしそういったジレンマや迷いに直面した時には、行動する前に指示を受けるということです。

当社のポリシーに明確に規定されている許可された逸脱を除き、規範およびポリシーの免除にはすべて、テラデータの法務組織の書面による事前の承認が必要となります。テラデータ取締役会による監査委員会のみが、テラデータの役員あるいは取締役会メンバーによる当社規範の遵守を免除することができます。ただし、非常に特殊な状況においてのみ、適切な情報開示と透明性の要件に準拠している場合に限りです。私たちは、同じ行動基準を全員に適用しています。

また、企業の役員や取締役会メンバーに関してはさらに高い水準や期待を持っています。

ガイダンスを求めると、違反を報告すること

当社の規範に違反することは重大な問題であり、当社の取引関係や評判を著しく傷つける恐れがあります。疑問や懸念がある場合、あるいは当社の規範やポリシーあるいは法律に違反しているかもしれないという行動に気が付いた場合には、あなたには率直に話す義務があります。誠意をもって懸念を報告すること(すなわち起こりうる問題について正直で徹底的な説明をするということ)は、テラデータが職場の問題が深刻化する前に回避または解決するのに役立ちます。

法的あるいは倫理的違反を疑った場合には、以下のいずれかの担当者へ知らせてください。

直属のマネジャー(マネジャーに懸念を伝えることに抵抗がない場合)

上位レベルのマネジャー

Teradata 人事組織の担当者、または People Hub の「懸念事項を報告する」機能を通じてオンラインでテラデータ倫理・コンプライアンスオフィス(メールアドレスは E&C@Teradata.com)

テラデータ倫理ヘルプライン(オンラインアドレス: www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp、電話: +1-866-455-0993)
テラデータ倫理ヘルプラインの電話番号はほとんどのテラデータ社員 ID バッジに印刷されているため、いつでもご覧いただけます。テラデータ倫理ヘルプラインでは、法律で認められている場合、匿名での報告が可能です。

テラデータ法務組織のメンバー

問題となっている分野の、テラデータ内容領域専門家チームのメンバー(例えば、疑われる盗難問題についての会社のセキュリティ、疑われる不正経理についての内部監査)

無記名での報告も選択できますが、その場合はあなたの懸念事項の具体的な詳細を追及するのが難しくなるかもしれません。国によっては、地域の条例があなたに身元確認を要求する場合があります。あなたの報告がどちらに当てはまるかは倫理・コンプライアンスオフィスあるいは倫理ヘルプラインがお知らせします。私たちは上記の担当者に連絡する際には

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

名乗るようお勧めします。そうすればテラデータが問題調査を徹底的に行えるからです。もしあなたが名前を告げるか直接出向く場合には、テラデータは、あなたの名前の共有は必要最低限に抑えるなど、あなたの身元を守るため、適用される法律が許す限り最大限の処置を取ります。

違反の疑いに関する報告を調査すること

テラデータは、業務上の懸念が表明された場合、真摯に対応します。個人情報について慎重に取り扱い、不正行為が疑われるすべての報告を徹底的に調査・分析します。テラデータにおける役職や職務のレベルにかかわらず、本規範、当社のポリシー、または法律に違反した者は、現地の法律で禁止されている場合を除き、解雇を含む適切な懲戒処分の対象となります。**調査の対応方法についてはこちらを参照してください。**

調査において助力を求められた場合には、すべての質問に正直に答え、完全に協力しなければなりません。倫理的あるいは法的違反に対する虚言、隠ぺい、ごまかしは、当社規範を著しく違反することになり、解雇につながる可能性があります。

ここに列挙したどの担当者へもあなたの懸念を報告したくない場合には、文書をテラデータの国際本部の会社秘書役に渡すことにより、テラデータの取締役会による監査委員会に直接報告することもできます。Audit Committee of the Board of Directors, Teradata Corporation, Attention: Corporate Secretary, 17095 Via Del Campo, San Diego, California (USA) 92127

報復の禁止

全テラデータ・ピープルは、自分の職やテラデータとの仕事上の関係がマイナスの影響を受けることを恐れず、法律、当社の規範、テラデータのポリシーに関する違反の疑いを報告する権限があると感じている必要があります。テラデータは、「何かに気付いたら、何らかの声を上げる」という環境を育んでいます。これを促進するために、テラデータは、倫理やコンプライアンスの調査や監査に参加する者と同様に、誠意をもって、疑問、懸念の表明、あるいは報告を行う者に対するいかなる形の報復も厳しく禁じています。

報復とは、報告したり、調査に参加したり、質問したことにより、経験する可能性があるあらゆるマイナスの結果を指します。これには、不当に降格されたり、不当に否定的な業績評価を受けたり、不当に賞与や給与が減額されることなどが含まれます。また、重要なプロジェクトや会議から意図的にはずされるなど、より微妙な行為も含まれます。報復を受けたり目撃したと思われる場合は、上記のいずれかの方法で連絡してください。報復行為を報告することで、職場における倫理と誠実さを態度で明確にし、テラデータを働きやすい職場にすることができます。

誠意とは、正しくないとならないという意味ではなく、あなたが持ち、真実であると信じる情報のすべてを提供するという意味です。悪意とは、誰か他の者を標的にしたり、報復したりする意図でよく行われるもので、間違っていると分かったうえで情報を提供することです。当社は、報復を容認しないのと同様に、間違っていると分かっているのに悪意で提出された情報も容認しません。

マネジャーの特別な責任

他の人々を監督するテラデータの社員は追加的な義務や責任を負っています。マネジャーは自らの言葉をもって、決定、行動、高い水準の誠実さに対する個人的なコミットメントを表さねばなりません。テラデータのマネジャーとして、あなたには以下のことが求められています。

規範およびテラデータのポリシーを常に遵守することによって、自ら実例を示す

話し合い、コミュニケーション、トレーニングにより、あなたのチームの社員とあなたのビジネスパートナーが当社の規範と関連するポリシーを確実に理解しているようにする

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

あなたのチームの社員をより大きな責任のあるポジションに昇進させる前に、彼らが当社の規範に従っており、テラデータの基本原則を体現しているかどうかよく考える

行動や行為において良い手本となる社員を見分け、報いる

あなたのチームあるいは職場で不正が起きないように気を配り、必要となればテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに報告する

テラデータ・ピープルが倫理、コンプライアンス、ポリシーに関する疑問や懸念を表明しやすいような環境を作る

誠意をもって懸念を表明した者に対して決して処罰を与えたり認めたりしてはならない

マネジャーが違反に気付いていながら、あるいは気付いていたはずなのにそれに対応あるいは報告しない場合には、懲戒の対象となります。テラデータのマネジャーとして、あなたには誠実であることがテラデータにおける最優先事項だという姿勢を示す義務があるということを覚えておいてください。

お互いへの説明責任

私たちは、すべての人が尊厳と敬意を持って扱われる職場づくりに尽力しています。私たちがお互いどのように接するかは、当社の文化や、同僚、顧客、パートナーの体験を形作ります。互いに公平に接し、何かが悪く感じるときには声を上げることで、誰もが最高の成果を発揮できる環境づくりを支援します。この取り組みは、差別、ハラスメント、いじめ、報復を禁止する当社の方針によって支えられています。テラデータは、組織内の公平性、機会均等、または敬意ある扱いを損なう可能性のある人種差別やその他の慣行（組織的なものであれ、個人のものであれ）を特定し、対処することに尽力しています。多様性、公平性、包摂性グローバル企業として、私たちは一人ひとりが持つ異なる背景、視点、経験を大切にしています。当社は、適用されるすべての非差別および雇用関連法を遵守し、以下のような環境づくりに努めています：

- ・ すべての人々が尊厳と敬意を持って扱われる
- ・ 誰もが、自身のスキル、資格、および実績に基づいて成功する機会を平等に得られる
- ・ 異なる考えや視点は歓迎され、尊重される
- ・ 採用・人事の決定は、能力、資格、および実績に基づいて行われます

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

多様性、公平性、包摂性への誓い

テラデータにおいて、インクルージョンは日々の実践であり、共有すべき責任です。私たちは、あらゆる地域や役職において、尊厳、公平性、そして敬意をもって互いに接する職場づくりを約束します。

すべての従業員がこの環境づくりに一役買っています。つまり、私たちは：

- 差別、ハラスメント、いじめ、不当な扱い、または偏見を目撃したり経験したりした際には、**声を上げる**
- あらゆる関わりにおいて、公平性、敬意、そしてプロ意識を持って**行動する**
- 異なる視点やコミュニケーションのスタイルを**尊重する**
- 他者が参加し、貢献し、意見を述べられる**場を作る**
- 報復を恐れることなく、既成概念に**疑問を投げかけ**、懸念を表明する

いかなる形態の人種差別も容認しません。私たちは、公平性と包摂性を損なう行動や慣行を特定し、是正するよう努めるとともに、差別の影響を受けた従業員を支援します。

これらの取り組みは当社の文化を強化し、テラデータが、誰もが尊重され、支えられ、最高のパフォーマンスを発揮できる環境を築く一助となります。

私たちは、人によって、またチームによって経験が異なることを認識しています。私たちは、人々が支えられていると感じ、最高の仕事ができる環境を継続的に強化できるよう、耳を傾け、学び続けることをお約束します。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

差別、ハラスメント、いじめの禁止

テラデータでは、差別、ハラスメント、いじめ、人種差別は決して容認されません。当社の「ゼロ・トレランス」方針に基づき、禁止行為は決して見過ごされることはありません。すべての懸念事項は迅速に検討され、公正に調査され、適切な是正措置が講じられます。処遇は、事実関係、行為の重大性、調査結果、および適用される法律に基づいて決定されます。是正措置は、指導や研修から懲戒処分、解雇に至るまで多岐にわたります。一貫しているのは、懸念事項に対処し、すべての人にとって敬意が払われ、安全でプロフェッショナルな環境を維持するという当社のコミットメントです。

差別禁止

テラデータは、能力と正当なビジネス上の要因に基づいて、雇用および事業上の決定を行います。当社は、差別なく採用、業績評価、昇進、およびビジネスパートナーの選定を行います。不公平または差別的な影響をもたらす行為、行動、慣行(意図的か否かを問わず)は一切容認しません。当社は、不公平または差別的な結果をもたらす可能性のある慣行を特定し、対処し、是正するよう努めています。

当社は、人種、肌の色、民族、出身国、宗教、性別、性自認または性表現、性的指向、年齢、障がい、妊娠、婚姻または家族状況、軍歴または退役軍人としての地位、遺伝情報、その他法律で保護されているいかなる特性に基づく差別も決して行いません。また、意図せず、または不注意による差別を引き起こす可能性のある慣行や手続きを特定し、対処することにも取り組んでいます。

ハラスメントといじめ

ハラスメントとは、保護対象となる特性に基づき、特定の人物に対して向けられる、望ましくない、または不快な行為を指します。以下のいずれかの場合に、ハラスメントとみなされます。(1) その行為への服従が、雇用における明示的または黙示的な条件とされた場合、または雇用上の決定に影響を与えるために利用された場合、あるいは(2) その行為が極めて深刻または広範であり、威圧的、敵対的、または不快な職場環境を作り出す場合。

ハラスメントには、性的および非性的なものがあります。セクシャルハラスメントには、望まれない性的アプローチ、性的恩恵の要求、またはその他の性的性質を持つ言葉、身体的、視覚的な行為が含まれます。

保護対象となる特性に基づいて特定の人物を標的とし、その人の職場環境や雇用機会に悪影響を及ぼすあらゆる行為(口頭、身体的、書面、視覚的を問わず)は、厳格に禁止されています。

いじめとは、不快、威圧的、悪意のある、または侮辱的な望ましくない行為、あるいは他者を貶め、屈辱を与え、または身体的・精神的な危害を加える権力の乱用を指します。いじめは、繰り返し行われる場合もあれば、単発の深刻な事件として発生する場合があります。対面、オンライン、ソーシャルメディア、電子メール、メッセージなどを通じて発生し、他者には必ずしも明らかではない場合があります。いじめには、適切かつ敬意を払った業績に関するフィードバックや、善意に基づいて行われる管理上の措置は含まれません。

ハラスメントと同様に、いじめは個人の業務遂行能力を妨げ、雇用機会を損なう可能性があります。テラデータは、社内の施設内、業務関連のイベントや出張中、あるいは社内外のコミュニケーションプラットフォームを通じて発生するかを問わず、いかなる形態のいじめも容認しません。

私たちは、敬意と公平性、そして包摂性のある職場を築くための行動と説明責任を重視しています。フィードバックに耳を傾け、慣行を見直し、この取り組みを堅持するための努力を継続的に強化しています。懸念事項がより深刻な問題となる前に、早期に特定し、調査し、解決する機会を歓迎します。

テラデータは、差別、ハラスメント、いじめ、または人種差別に関わるあらゆる懸念を真摯に受け止めます。当社のポリシーに違反する行為を経験したり目撃したりした場合は、本規範に明記されている報告ルートを通じて直ちに報告してください

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

い。管理職は、受け取った、または目撃した懸念事項を、適切な調査が行えるよう、直ちに人事部門または倫理・コンプライアンス室に報告しなければなりません。

いじめの危険信号

いじめの兆候となり得る行動の例には、次のようなものがあります：

- 侮辱的、脅迫的、または相手を軽視する意図を持つ、攻撃的または威圧的な行動
- 相手の自信を損なったり、精神的苦痛を与えたりする、公の場での屈辱や嘲笑
- 他人の仕事を故意に妨害したり、成功する能力を阻害したりすること
- 通常のフィードバックの範囲を超えた、執拗で不当な批判
- 会議、共同作業、または業務活動から意図的に誰かを排除すること

いじめは、対面、オンライン、または業務関連のイベント中を問わず、決して許されるものではありません。もし目撃した場合は、声を上げてください。

ハラスメント(性的・非性的)の危険信号

ハラスメント(性的・非性的を問わず)の兆候となり得る行動の例には、次のようなものがあります：

- 不快または侮辱的な冗談、差別的発言、またはコメント
- 望まれない個人的または性的な発言、アプローチ、要求
- 不適切または不快な画像、メッセージ、資料の共有や表示
- 脅迫、身振り手振り、身体的な妨害などの威圧的な行為

こうした行為を目撃したり、被害に遭ったりした場合は、声を上げてください。いかなる形態のハラスメントも容認されません。

人種差別の危険信号

人種差別の兆候となり得る行動の例には、次のようなものがあります：

- 人種差別的なジョーク、差別用語、または侮蔑的な発言
- 人種的な悪口、シンボル、またはステレオタイプを使用すること
- 人種や民族を理由に、相手を劣った存在や能力が低い存在として扱うこと
- 人種のプロファイリング、または外見や文化的背景に基づいて特定の人を標的にすること
- 人種や民族に関連した理由で他者を排除、軽視、または侮辱すること

いかなる形態の人種差別も容認されません。すべての人が、敬意、公平性、そして包摂の精神を持って行動することが求められます。

利害対立の回避

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

私たちは皆、テラデータの成功に献身しています。利害の対立は、私たちの成功を妨げます。対立は、私たちの個人的な、家族の、あるいは経済的な利益が、テラデータにとって最大限の利益となるよう客観的な職務決定を下す能力を妨げるとき(あるいは単に妨げるように思われたときですら)に現れる場合があります。私たちは皆、テラデータへの忠誠と外部の利益との間で引き裂かれる思いをするような状況は避けねばなりません。

以下によくある対立状況の例を挙げます。もしあなたに実際に利害の対立がある、もしくは将来的にそうなりそうだと思う場合、即座に直属のマネジャーに打ち明けてください。個々の対立状況の可能性自体は規範違反のレベルには至らないかもしれませんが、対立の報告を怠ることは、違反に当たる可能性があります。

家族や友人とのビジネスを行うこと

利害の対立は、あなた(あるいはあなたの配偶、親戚、親しい友人)がある企業と個人的な利害関係にあり、その企業がテラデータに品物やサービスを提供しているあるいは供給したいと思っている場合、またはその企業がテラデータの顧客あるいは潜在顧客である場合、またはテラデータの競合企業である場合に生じる可能性があります。そのような状況にあると気付いた場合、あなたはその企業を含む選定プロセスや入札プロセス、交渉の決定に自分の立場を利用してはなりません。業者の選定に直接関わっていて、業者や潜在的な業者を含むときは、マネジャーに即座に伝え、あなたを決定プロセスから除いてもらわねばなりません。あなたが関係を持つ業者が選定された場合には、提供された品物やサービスの品質を評価する際にも関わらないようにしてください。

競合企業に親戚や親しい友人がいる場合は、マネジャーにその旨を伝え、テラデータの機密情報や情報システムにアクセスを許すことを防ぐため、また当社の競合・独占禁止法の遵守やインサイダー取引規範の規定やポリシーによって保護されている事柄が彼らに伝わることを防ぐため、特別な予防措置を取ってください。

販売側の代表者と購入側の代表者との間の恋愛関係もまた利害対立の問題を生じさせるので、それぞれの企業と関連する取引が完了する前に開示し対処せねばなりません。

家族の雇用に関するテラデータのポリシー(**Corporate Management Policy (「CMP」) 201**)では、一般的に家族や恋愛関係にある者を雇用、管理、あるいは監督することを禁じています。そういった対立を抱えている場合、あるいは対立に気が付いた場合は、関与するふたりの間の雇用、管理あるいは監督関係を変更または何らかの形で対処できるよう、即座に直属のマネジャーとテラデータの人事組織に報告しなければなりません。

副業と投資

テラデータ以外で雇用されること、あるいはテラデータの競合企業と重要な利害関係を有することも、テラデータの社員に利害対立をもたらす可能性があります。テラデータのフルタイムの従業員である場合、テラデータにおける適切な職務遂行を妨げるテラデータ以外の仕事をしてはなりません。このことは、あなたのテラデータの勤務時間内に外部の仕事をする、あるいはテラデータの資産、設備、ネットワーク、情報、その他のリソースをテラデータの仕事以外の用途に利用することを含みます。また、他の営利目的企業あるいは株式公開企業の取締役会に就任することも、利害対立の問題を引き起こす恐れがあります。テラデータの社員はそうした役割への打診があったときや競合他社の主要な株式を保有することに関する疑問を必ずマネジャーやテラデータの法務組織に報告してください。私たちはそのポジションの範囲、期待されること、要求されること、および意図する株式保有の範囲について話し合い、一般的な方法で状況に対応することができます。

企業の機会

状況によっては、テラデータでのあなたのポジションを通して、テラデータにとって関心のあるような買い付けや投資の機会に気が付くことがあるかもしれません。あなたはテラデータがその機会を評価できるようにするため、その機会をマネジャーに即座に報告せねばなりません。テラデータがその機会を追及しないことに決めた場合には、今度は自分のためにあなたが行動を起こしたり第三者に話をしたりする前に、マネジャーとテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスに書面による承認を請求し、これをもらわねばなりません。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

利害対立の扱い

テラデータは利害対立が悪意のないところからも生じ、何の兆候もなかったところに対立あるいは利害対立のように見えるものを生む状況の変化が生じうると認識しています。この件に関して頭に留め置くべき重要なことは、潜在的な利害対立に気が付いた時点ですぐにマネジャーにそれを開示しなければならないということです。マネジャーは、テラデータの人事組織、法務組織やテラデータの倫理・コンプライアンスオフィスと協力して、解決に向け何を成すべきかを決定するか、潜在的な利害の対立が現実のものにならないように、あなたが適切な予防措置を講じることを許可し、あなたが安心して予防措置を実行できるようにします。

利害の対立ガイダンス

質問: あなたの叔父はある種のサービスを提供する会社を所有・経営しており、同じ種のサービスのマーケットにテラデータが関わっていることにあなたは気がきました。その種のサービスをあなたの叔父の会社に調達しているテラデータの担当者にこの話をすることはできますか？

解答: できます。しかし当社の利害の対立ポリシーの元では、その話をすることはあなたと叔父の関係を開示せねばなりません。また、あなたはそのサービスの供給者を選定したり、あなたの叔父の会社からサービスが調達されている場合はそのサービスを交渉、実施、管理したり、サービスのクオリティーを評価したり、あなたの叔父の会社への支払いを承認したりするための意思決定プロセスには関与してはなりません。開示性や透明性、そして関連する意思決定や管理、支払いなどの流れから身を引くことが、こうした状況下でも規範に遵守したままであるためには重要です。

職場安全衛生

テラデータは、各社員とビジネスパートナーに安全で健康的な職場環境を提供することに努めるものとします。適切な衛生、安全、環境保護のための対策を取らずに行う活動はひとつもありません。これは、オフィスと仮想職場に適用されます。

テラデータはまた、薬物のない職場づくりにもコミットしています。これは、私たちは皆、職務を遂行する上で薬物やアルコールの影響を受けてはならないということです。会社の敷地内あるいは会社の職務中における違法薬物の利用、所持、流通、販売あるいは処方薬または合法薬物の不適切な利用や乱用は厳しく禁止されています。アルコールは、管理職が承認している、ある種の会社主催のイベントでは、節度を持って、しかし、そのイベントのガイドラインを守っている場合に限り消費される場合があるが、但しそれは、アルコールを摂取する関係者が、自分自身のアルコール摂取や、アルコール摂取に関連した行為について、完全に責任や説明責任を受け容れる場合に限り、また、法律的に合法でない間は、関係者が乗り物、自動車を操作しない場合に限りです。

職場における薬物やアルコール乱用に関する当社ポリシーの違反は容認されません。テラデータは薬物やアルコールの乱用あるいは中毒と闘う社員を支援するための社員支援プログラムを実施しています。該当する社員はぜひこのプログラムを利用してください。これらのサービスに関する情報は、テラデータ従業員支援プログラムで入手可能です。

テラデータの社員は互いに敬意と礼儀をもって接することが求められています。テラデータは暴力行為あるいは脅しを容認しません。実際の暴力行為や脅しを職場で見かけた場合は、マネジャー、ファシリティ・マネジャー、人事組織の担当者に即座に報告してください。

会社の資産の利用

テラデータの資産(情報、施設、ネットワーク、設備、材料、財産、技術、評判など)は、私たちのチーム全体による激務、功績、献身によって得られたものです。私たち全員がテラデータの成功の継続に関心があり、私たち全員がその成功に責任を負っています。私たちは自分たちの資産および関連データと個人情報情報を窃盗、損害、損失、誤用から守り、それがテラデータやテラデータが承認した目的のみにしか使われないようにせねばなりません。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

テラデータは、当社の社員がテラデータの資産のわずかな部分を時に個人的に利用するのを承認します。しかしながら、個人的な目的のためのテラデータの時間、資産、あるいは資源の習慣的あるいは大規模な利用は認めません。個人的に、あるいはテラデータが承認していないコミュニティのため、または慈善目的でテラデータの資産を利用する際、最小限の規模を超える場合にはマネジャーによる事前承認を受けねばなりません。

テラデータの資産を個人的に利用してよい金額、種別、または内容が適切かどうか迷いがある場合は、マネジャーと話し合い、事前に承認を取ってください。許可を得るまでは、そうした目的でテラデータの資産を利用することは控えてください。

テラデータの規範は、テラデータの資産の業務上の利用、許可を受けた個人的な利用の両方に適用されます。つまり、ポルノ画像などへのアクセス、閲覧、保存、送信や、差別、ハラスメント、いじめ、報復に関わる行為、あるいは暴力による脅迫、非合法のギャンブル、売春、その他の違法行為など、当社の規範やポリシーに違反するいかなることに、いつ何時もテラデータの資産を利用してはなりません。違反は解雇を含むそれ以下の懲戒につながります。

誠実な事業運営テラデータは、競争の激しい市場で操業しています。私たちは、お客様のニーズに応え、競争についていくため、常にイノベーションと改良を私たちの製品やソリューションで行わねばなりません。同様に大切なのは、私たちのブランドと原則の一貫性を示すため、私たちが高い行動基準を保ち、一般の人々とのやり取りで、いつも真正であることと真実であるようにすることです。

正確な記録を残すこと

私たち全員が、テラデータの帳簿や記録が完全で正確であることを保証する責任を負っています。当社のすべての財務上の記入および記録は、支出・取引またはプロジェクト(場合により)の真の性質、金額、関連する実際の日付、関係当事者、および目的を、公正かつ正確に反映しなければなりません。このことは、買収資金・賄賂、記録されていないプールされた金銭、あるいは権限付与されていない資産/権限付与されていない賄賂・キックバック・旅費・接待・贈り物・親切・個人的なアイテム・請求書の支払・割引・リベート・調達・請負業者・外注先・契約・仕事の指示・その他の不適切な目的、を定めたり使用してはならない、ということの意味しています。経費の報告、発注書、請求書、プロジェクト報告の方法/ツール、その他のテラデータの簿記や記録に、虚偽あるいは人造の記載をしてはなりません。

私たちは事業にとって最高の、もっとも効果的な決定を行うために、正確な情報を必要とします。顧客、社員、ビジネスパートナー、株主、政府当局に対する義務を果たし、責任を持つために、全事業に関して、完全で、公正で、正確で、時宜を得た帳簿や記録を残さねばなりません。事務処理正確な記録は、テラデータが財務上、条例上、また報告の義務を遂行するのに重要です。

全テラデータ社員はテラデータの帳簿や記録が正確であることを確かめる必要があります。私たちは、報告内容(労働時間、経費、その他すべての事業にかかわる活動の記録を含む)やすべての領収書やその他の関係書類および日付と情報が、改ざんされたもの、誤解を招くもの、偽造されたものではないことを保証する必要があります。記録や報告のファイリングは、遅れず、正確にせねばなりません。関連するポリシーを確認した後、それでも特定の支出が、正当な払い戻し/支払い可能な経費なのか、あるいは当社のポリシーで許可されているものなのか確信が持てない場合には、行動の前、払い戻し/支払いの請求を行う前に、直属のマネジャーあるいは社内の内容領域専門家(SME)に質問する必要があります。社員は責任を負っており、不当な報告あるいは払い戻し/支払いの請求を行った場合は懲戒の対象となります。

完全で適切な基礎となる文書がない場合は、オーダー認識や収益認識を含む帳簿の記載、取引や支払の処理を決して行ってはいけません。帳簿、記録、オーダー、契約、承認、インボイス、受理など収益認識および正当な会計処理と関連のある書類の改ざん、偽造、日付のごまかしは常に誤りであり容認されません。私たちは皆、会社の帳簿、記録、経理や法令による条件の遵守の正確さを確認する取り組みにおいて、財務管理の職員、収益認識保証の職員、内部あるいは外部の監査役に完全に協力せねばなりません。審査、監査、調査などへの協力を拒む、誤解を招くような情報の提供、あるいは積極的な妨害を行う場合は懲戒を受けます。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

会社の記録が作成された後に適切に保持していくことも重要です。テラデータでは、記録保管制を導入しています。必要とされる期間記録を保持し、必要がなくなった際に破棄する方法について記述のあるポリシー（**企業財務および会計ポリシー（CFAP）111**）。どの記録をどれだけの期間保持する必要があるのかが不明な場合は、記録保持ポリシーを参照し、あなたの担当分野、あるいはあなたに対応している文書のタイプが記録保持スケジュールに当てはまっているかを確認してください。

また、実際の法的手続きあるいは行政調査が行われるとき、またはその恐れがあるときには、文書や記録に訴訟ホールドがかかる可能性があることを念頭に置いてください。法的手続きにおいては、テラデータは、関連した文書や記録を守る、あるいは作成することができないというリスクを負う事態になるのです。このような場合には、テラデータの法務組織より連絡があります。訴訟ホールドがあなた、もしくはあなたが持っているあるいは管理する文書に及んだ場合、法的効力のある指示に従ってすべての関連する記録を保持せねばなりません。

不正行為への警戒

はっきりとした正当な事業目的がないのに、会社の記録あるいは自分の仕事の担当とは関連のない会社の記録に慎重にアクセスしたりコピーしたりしている。

ライフスタイルが収入以上の暮らしぶりを反映している。

私的な面の安定性に欠ける。家庭や職場で精神的苦痛を経験している。家内企業による過度の、あるいは理不尽な経済的なあるいはライフスタイルにおける期待に遭っている。

常に体制を打破しようとしたり、製造プロセスの操作や不正アクセスをしようとしたり、越権行為をしようとしている。

不必要な仲介者/請負業者が利用されている；無資格、不適格、十分に検証されていない、仲介者/請負業者が利用されている；開示されている、仲介者や請負業者との個人的な関係やアレンジメントを持っている関係者。

請求書・発注書・作業明細書の記載や日付が、実際の事項/日付に実際に関与した/配達されたものと合致しない；1件の取引セットに対する請求書や発注書が、その他に必要な、より高いレベルの承認を得ずに済むために、複数の請求書や発注書に分割されている。

事前の承認なしに、Teradata の情報・資産・データを個人の電子メールアカウントや個人の外部デバイスに転送すること、または Teradata の電子メールアカウントの代わりに個人の電子メールを使用すること

はっきりとした正当な事業目的がないのに、おかしな時間にオフィスにいる。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

ソーシャルメッセージ、IT、ネットワークシステム

ソーシャルネットワーキングやインターネットは重要なビジネスツールです。職場での、あるいは会社のテクノロジーを使用しているインターネットやソーシャルネットワークの利用は当社の規範、基本原則、ポリシーに従って行わねばなりません。業務時間内か業務終了後かに関わらず、テラデータの IT(設備、ソフトウェア、ネットワークリソース)あるいは顧客やビジネスパートナーの IT を利用して、攻撃的、性的、差別的、ハラスメント的、ポルノ的、違法、その他の不適切なデータや情報を集めたり配信したりしてはいけません。

ソーシャルメディア上での行動は、あなた自身だけでなく、テラデータの評判にも影響を及ぼす可能性があります。当社を代表して発言できるのは、限られた人だけです。あなたもテラデータを代表して話す権限があるように誇張しないでください。電子メール、テキストメッセージ、インスタントメッセージ、ブログのコメント、ソーシャルネットワーク上のやり取り、および音声メッセージは、転送が容易で、追跡可能であり、復元可能な通信記録を生み出します。Teradata に関連する、あるいは Teradata のシステム、デバイス、ネットワーク上またはそれらを通じて作成されるすべてのメッセージは、会社のレターヘッドを使用した手紙を作成する場合と同じ注意を払って作成する必要があります。

電子メール、インスタントメッセージ、テキストメッセージ、およびソーシャルネットワーク上で発言した内容は、他者に関連される可能性があり、社内外の調査の対象となったり、法的開示の対象となったりする可能性があることを前提としてください。これらのリソースを使用したコミュニケーションやドキュメントの内容、またはテラデータに言及したり関与したりする内容に適用し、心に留めておくべき経験則として、「新聞ルール」があります。あなたのコミュニケーションが新聞の一面に掲載され、他の人が何の脈絡もなく読めるようになったとしたら、それはテラデータの基本原則と規範に合致していると受け止められるでしょうか？受け取られないとすれば、もう使用も、送信も、投稿もしないでください。

当社の情報技術のセキュリティ、完全性、および業務上の目的を維持し、法律、規制、プライバシーに関する義務、および契約上の義務を遵守するため、私たちは皆、Teradata、顧客、およびビジネスパートナーの情報システムへの不正アクセスを防ぐために、ログイン情報やパスワード情報を保護するために必要な措置を講じる必要があります。また、情報の保管期間(ただし、それ以上ではない)を定めたテラデータの「記録および情報ポリシー(CMP 932)」にも留意する必要があります。テラデータに属する情報、およびご自身や同僚に関連する情報を保護するため、適用されるすべての「記録および電子通信ポリシー」を遵守しなければなりません。記録や電子通信の自動削除を妨害しようとする行為は、全員を危険にさらすものであり、ポリシー違反となる可能性があります。

テラデータには、テラデータのシステムおよびリソースの利用、ならびに社内のシステム上であるいはシステムを利用して送信や保存を行ったメッセージや文書はいずれも内容を監視する権利があります。これにはユーザーによって消去された情報やテラデータのネットワークを使って送信された情報も含まれます。テラデータ、顧客、ビジネスパートナーなどのコンピューターあるいはネットワーク上で E-mail、インターネット、その他の形式の電子ストレージや通信を利用した場合、(適用法の要求を超える)プライバシー保護を期待することはできません。テラデータは、私たちひとりひとりがテラデータのリソースや顧客やビジネスパートナーのリソースの利用に適用する条件や制限を重んじることを期待し、要求しています。

ソーシャルメディアや従業員情報の機密性に関するいかなる制限も、法的に保護された活動に従事する従業員の権利を制限することを意図したものではなく、またそのように解釈されるべきではありません。

インサイダー取引

私たちは、テラデータと、テラデータが共に事業を行っているあるいは共に事業を行うつもり企業について、他の人々は知らないかもしれない情報へのアクセスを通常行うことができます。この情報には、投資家の売買やその他社内のセキュリティに影響する可能性のある非公開情報が含まれるかもしれません(テラデータあるいは他社が関わる株式やオプション取引など)。例えば買収、分割、経営陣の変更、財務成績、財務予測などです。

インサイダー取引とは、テラデータ、顧客、ビジネスパートナー、あるいはテラデータと事業関係を結んでいる、または結ぶつもりのある他社に関する重要な非公開情報を保有しながら証券売買その他のトレードを行う違法行為です。インサ

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

イダー取引は、当社の規範のテラデータインサイダー取引ポリシー（企業経営ポリシーCMP 922 および CMP 922Q を参照）と州および連邦政府の証券取引法に対する重大な違反であり、関わった個人は即時解雇や将来的な刑事訴追の対象となりえます。

「チッピング」（内部情報を外部へ漏えいすること）もまた当社のポリシーや規範、証券取引法の違反となり、同様の結果を招きます。チッピングは、例えうっかりでも、重要な非公開情報を誰かに提供し、その人物が情報に従って証券の売買その他のトレード行為を行ったときに起こります。私たちひとりひとりがテラデータ、顧客、ビジネスパートナー、あるいはテラデータが事業関係を結んでいる、または結ぶつもりのある他社に関する非公開情報を、家族や友人、その他の第三者に対して漏らさないように気を付けねばなりません。

テラデータのインサイダー取引ポリシーの下、一部の社員は制約のあるインサイダーであるとして、一定期間中は自動的に取引から「ブラックアウト（除外）」されます。内部情報を保有していながら、あるいは制約のあるインサイダーでありながら証券取引を行うことについて疑問あるいは懸念がある場合は、テラデータインサイダー取引ポリシーを参照してください。それでもまだ疑いが晴れない場合には、トレードを開始する前に法務組織に、より詳しい指示を仰いでください。

外部企業とのコミュニケーション

テラデータの評判を保護し、強化するため、会社に関するすべての対外的なコミュニケーションは、正確かつ一貫性があり、当社の基準を反映したものでなければならず、適切なルートを通じて行われなければなりません。テラデータが関与する、または言及されるメディアとのコミュニケーションは、テラデータの広報・コミュニケーションチームを通じて調整する必要があります。同様に、すべての召喚状、規制当局からの照会、および政府による検査要請は、テラデータの法務組織に報告しなければなりません。業績、財務結果、またはその他の重要な情報に関する開示は、テラデータの方針（特に CMP 110）に基づき承認され、かつテラデータ開示委員会によって承認された場合にのみ行うことができます。これにより、適用されるすべての法律、規制、および開示要件への準拠が確保されます。政治的な貢献と慈善活動

テラデータの社員は、自らが選択した地域活動や政治活動に積極的に参加することが推奨されます。しかしながら、いかなる政治活動への参画も勤務時間以外で、かつ自らの所有する資産を用いて行われなければならず、事前にテラデータの法務組織によって特別に許可された場合を除き、会社を代表している、または会社と関連があるかのように振舞ってはなりません。

法律及び規則が定める、法人による政治的貢献や政治活動は、テラデータがビジネスを行う多くの地域ごとに多様で複雑な場合があります。一般的な規則として、私たちはテラデータが選挙の候補者や政党、そしてある政治的な取り組みなどを支持していると受け取られるようなことは、事前にテラデータの法務組織によって文章で承認を受けていない限り、一切行うことはできません。行う場合でも、政治活動の許容範囲は、テラデータの企業の政治活動ポリシー（「CMP 926」を参照）および外部向けの政治活動ポリシーステートメント（<https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Governance/Political-Activity-Policy-Statement>）を参照してください。

会社として、我が社は、私たちの活動する地域のチャリティーや地域活動をサポートする取り組みや方針を採用しています。我が社でも、全社員に勤務時間内にチャリティーや地域貢献活動などのボランティア活動に従事することを紹介・推奨するプログラム（テラデータ・ケア）を持っています。このような目的に使われるテラデータの資産の量は、重点的に管理、実施されなければなりません。これは私たちが正しい道を進み、対立を避けるのに役立ちます。あなたが会社のリソースや会社の就業時間をチャリティーやコミュニティのために使うことが、許可されているか、あるいは適切かどうか疑問がある場合には、直属のマネジャーや人事組織の担当者に事前に相談し、指示に従ってください。

当社のコミットメントを掲げること

テラデータは献身的な個人で構成されるグローバルチームです。私たちは、私たちの専門分野で最高であろうとする献身を通して、お客様のビジネスおよびパートナーシップを獲得します。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

私たちの名声を守るため、私たちは、ビジネスを操業しているコミュニティの法に従い、コミュニティの習慣や伝統を尊重しなければなりません。同時に、当社の規範やポリシーに違反するような行為には、仮にその行為が地域の法令によって認められていたとしても、決して従事してはいけません。

贈収賄・汚職に対するゼロ・トレランス(完全非容認)

私たちは、汚職や他の不正のない事業を展開します。世界中に存在するテラデータとその全ての人々とチームは、米連邦海外腐敗行為防止法(FCPA)、英贈収賄法、中国の贈賄禁止法、その他の国際的な要件を含む汚職防止、不正防止、マネーロンダリング防止などに関する法令の支配下にあります。これらの法とテラデータポリシーの下で、私たちはいかなる形の賄賂やリベートも申し出たり、渡したり、求めたり、受け取ったりしてはならず、第三者に対し、自分に代わってそのようなことをさせてもいけません。

贈賄は、不適切なビジネス上の利点を得るため、価値のある何かを贈与すること、贈与を申し出ること、あるいは贈与の約束をすることを意味します。賄賂は現金とは限りません。不適切な贈答品、接待、あるいは商品やサービスの購入に法外な価格を支払うことも、贈賄とみなされる場合があります。リベートとはビジネスの手配に対して、すでに支払った合計金額の中から還元されるものを報酬として支払われるものです。

FCPA やその他の汚職防止や贈賄防止の法令に違反した結果は、支払いをした、あるいは受け取った個人と企業に対する罰金や実刑判決の可能性もある、大変厳しいものです。FCPA は特に(米国以外の)外国公務員との取引に適用されますが、テラデータはすべての商談取引において賄賂を禁止しています。米国内外の政府関係者との取引に適用される賄賂に対する同様の原則が、民間の顧客とビジネスパートナーとの取引にも適用されます。

反汚職および反贈収賄の法に対する遵守を続けるため、価値あるものが公務員に対して提供される前に、特別なルールを遵守しなければなりません。顧客やテラデータのパートナーの中には、全体的または部分的に政府事業体が運営するものもあります。結果的に、ディレクター、マネジャー、従業員、請負業者、その他同事業の責任者が政府の職員であることが考えられます。こうした状況においては、よくある妥当な接待や贈り物は、適用されるコミュニティにおいて慣習的で合法な手段であれば、テラデータのポリシーを遵守しているという条件で、一般的に認められます。金額の上限、事前の承認要件、その他の考慮事項についてのさらなる情報については、テラデータ贈り物と接待ポリシー(CMP 912)、贈り物と接待について具体的に説明しているこの規範の下記セクションを参照するか、または行動する前にテラデータ法務組織に相談してください。

米国以外では、下級政府職員への円滑化を目的とした支払いは、地域の法令あるいはビジネス慣習の観点から認められている国もあります。円滑化を目的とした支払い(「グリーンス」支払いと呼ばれることもあります)は少額の支払いであり、一般的に現金で、書類作成や承認申請など役所的で単調な事務作業の効率を上げるために行われます。しかしながら、円滑化を目的とした支払いのどこからが贈賄になるのかを見極めるのは難しい問題です。あなたを守るため、また会社を守るためにも、テラデータは円滑化を目的とした支払いについてもすべて禁止しています。円滑化を目的とした支払いが求められた場合は、賄賂やリベートを求められたときと同様に、即座にテラデータの法務組織まで報告してください。

テラデータのグローバル反汚職方針(CMP 904)では、贈収賄、汚職、マネーロンダリングを一切認めないことを表明しています。テラデータ・ピープルは皆このポリシーを遵守せねばなりません。

テラデータは第三者の適切な注意義務に関する様々なプロセス、ツール、規制も採用しています。これらは適性を判断し、汚職への関与で知られた第三者と取引するのを避けることを目的としています。また、リスクが高く危険な第三者による取引が、適用されるすべての法的要件を遵守して、評価リスクを十分に考慮した上で実施されていることの確認に有用な、特別な分かりやすい予防策が取られていることを確かにしてくれます。全テラデータ・ピープルは以上のプロセスやツールを遵守せねばなりません。

汚職防止ガイドンス

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

質問:部分的に政府事業体が運営する米国以外の電気通信会社あるいは銀行の職員が、もしテラデータが以下のことを行うならば、保留中の取引機会においてテラデータを優遇すると言ったとします。その職員の息子を採用する。その職員の兄弟の会社に下請け契約を発注する。その職員の姪に利するよう奨学基金に寄付をする。正当ではない出張でその職員に家族が同行するための費用を賄うあなたはどうしたら良いでしょうか？

解答:そのような要求は断り、直ちに Teradata Ethics & Compliance Office に報告してください。米連邦海外腐敗行為防止法 (FCPA) は、このシナリオに登場した電気通信会社や銀行などの米国以外の州政府が運営する会社の職員と取引する米国に拠点を置く企業やそのすべての世界中の子会社に適用します。そうした職員との事業において職員や家族の個人的な利益と引き換えに優遇措置を取引したり求めたり与えたりすることは、現金か現金に相当するものか現物支給(ここでは仕事、下請、奨学基金、家族に利する旅行など)かに関わらず禁じられており、即座に報告されねばなりません。

貿易コンプライアンスハイテク企業として世界市場に参加するにあたり、テラデータは輸出管理、輸入要件、および制裁(ボイコットや反ボイコット規制を含む)に特に留意しなければなりません。米国を含むほとんどの国では、物品や技術の輸出が厳格に規制されています。

他国の個人(あるいは、たとえその人物があなたと同じ国内に一時的に滞在している場合でも、他国の国民または代表者)に技術情報を伝達することは、法律上、輸出とみなされる場合があります。製品や技術が輸出可能かどうかは、その品目の性質、仕向国、および意図された最終用途や最終ユーザーなど、いくつかの要因によって決まります。

輸出管理および当該活動を規定する法律に関する詳細については、当社の「輸出コンプライアンス方針(CMP 919)」を参照するか、倫理・コンプライアンス室までお問い合わせください。

また、テラデータは、適用されるすべての輸入法および規制を遵守しなければなりません。これらの法律は通常、国への輸入が許可される品目、商品の表示・分類・評価方法、およびそれらに対して支払わなければならない関税やその他の税金を規定しています。輸入規制に違反した場合の罰則は厳しいものとなる可能性があります。テラデータの輸入業務に関与する場合は、当社の「輸入コンプライアンス方針(CMP 917)」を読み、内容を十分に理解しておく必要があります。輸入規制に関するガイダンスについては、倫理・コンプライアンス室にご相談ください。

米国に拠点を置く企業として、当社は特定の国、個人、または団体との取引を制限する米国の制裁措置に従わなければなりません。また、特定の他の国、団体、または顧客によるボイコット、禁輸措置、その他の貿易制限の実施の試みに関連する活動も、それらの行動が米国の貿易政策と相容れない場合(例えば、によるイスラエルとの貿易を制限または禁止しようとする取り組みなど)、禁止されています。当社は、取引が禁止されている個人や国、および禁止されているボイコットや制裁関連の活動について、詳細なポリシー(CMP 903 および CMP 919)と定期的に更新されるリスト(例:取引禁止対象者リスト)を保持しています。業務に適用される可能性のある制裁、ボイコット、またはアンチボイコット要件について質問がある場合は、倫理・コンプライアンス室までご連絡ください。

テラデータは、従業員一人ひとりが、適用されるすべての輸出管理、輸入要件、および経済制裁に関する法令・規制を遵守することを求めています。当社は、これらの法令やプロセスに加え、贈収賄や汚職のリスクを防止・低減し、貿易制限や制裁を遵守するために設計された、第三者によるデューデリジェンスツールや管理措置を導入しています。私たちは皆、顧客が誰であるか、製品がどのように使用されるか、そして製品の最終的な仕向地を確実に把握する責任を負っています。当社の製品、サービス、および/または技術情報の輸出、再輸出、国内移転、および輸入に関する法令や規制に違反した場合、罰金、損失、輸出入特権の制限、あるいはテラデータに対する悪評につながる可能性があります。ご質問や懸念事項がある場合は、倫理・コンプライアンス室までご連絡ください。贈り物と接待

贈り物とは、品物、サービス、旅行、宿泊、食事、接待など、贈り主が不在であっても、価値のあるあらゆるものが考えられます。贈り物の習慣は世界各地で多様です。ビジネスにおける贈り物や接待は、顧客やビジネスパートナーとよいビジネス

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

ス関係を構築するための挨拶です。しかしながら、過剰であったり、贈り物が義務感を生み出す場合、あるいは事業上の決定に不当または不正な影響を与えることを意図した場合には、贈り物は不適切となります。

以下のような贈り物は一般的に許容されます。

金額がわずかである

まれである

公然と提供された

求められていない

現金または現金同等物(貸付金、株式、ギフトカードなど)ではないもの独立したオブザーバーによって、適切とみなされるもの(例えば、成人向け性的志向の場所、サービス、エンターテインメントを提供したり、料金を支払ったりしてはならない)

他企業のポリシーを遵守しており、それが提供されている現地では合法である

テラデータのポリシー(CMP 912)に基づく贈答品の標準的な上限額は、1回あたり100米ドル/年間500米ドル、接待費は1回あたり200米ドル/年間1,000米ドルとなっています。これより低い上限が、部署、地域、チームのルールまたは現地法によって適用される場合もあります(例えば政府の役人や、全面的にあるいは部分的に政府が所有する企業の代表者との調達や接待に関わる場合など)。上限を上回る金額については、CMP 912に規定されている方法で、事前に管理職に承認を求めることができます。

もしあなたが許可されていない、あるいはテラデータのポリシーで設定された金額を上回る贈り物や接待を申し出られた場合は、テラデータのポリシーによって受け取ることができない旨を礼儀正しく説明してください。そうした贈り物を断ることで、申し出た人物を困らせたり不快にさせてしまうという場合には、テラデータを代表してあなたが贈り物を受け取り、即座にマネジャーに報告してください。

あなたは他企業の行動規範とポリシーを常に尊重せねばなりません。贈り物や接待がテラデータのポリシーで許可されていても、受け取る側の規範またはポリシーによってそれが禁止されている場合には、贈り物を申し出てはいけません。断然覚えておくべき最も重要なことは、目的のビジネスについて受取人の意思決定を妥協させるような、または妥協させるように見える申し出、贈与、勧誘、あるいは受領をしてはならないということであり、また、贈り物や接待は、必ず、経営陣に対して透明であり、また、適切な会社の書類に正確に反映し、開示されているようにしなければならない、ということです。たとえ、あなたが自分自身の金銭や、またその他のリソースを使用して、贈り物や接待をお客様の代表者に提供することになっていたとしても、それでもこれらの要件を遵守しなければなりません。

顧客が政府の担当者である場合は、特に気を付けねばなりません。政府の職員の場合、少しでも価値のあるもの、例えば軽いランチや一杯のコーヒー、あるいは食事やテラデータのロゴが入ったプロモーショングッズなどの粗品ですら、受け取ることが法で禁じられている場合があります。

環境・健康・安全テラデータは、当社で働くすべての人、および当社と関わるすべての人に対し、心身の健康を含む、安全で健全かつ安心できる職場環境を提供することに尽力しています。当社は、事業を展開する地域における環境、健康、安全に関する適用法令、規則、規制を遵守し、その取り組みを支えるために、EH&Sに関する方針、手順、研修、および報告要件を整備しています(CMP 601を参照)。

従業員には以下を求めます：

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993までご連絡ください

teradata.

- ・ 自身の役割および勤務地に適用される EH&S 要件および安全な作業慣行を遵守すること。
- ・ 必要な EH&S 研修を修了し、許可され、かつ研修を受けた業務のみを行うこと。
- ・ 怪我、病気、ヒヤリハット、安全でない状況、および環境への放出や漏洩については、たとえ些細なことのように思えても、速やかに報告し、リスクを早期に対処できるようにする。
- ・ 状況が安全でないと思われる場合は作業を中止し、指示を仰ぎ、調査や是正措置には全面的に協力してください。

EH&S に関する懸念がある場合は、直ちに上司、セキュリティ、施設管理、人事部門、または倫理・コンプライアンス報告窓口に申し出てください。テラデータは、善意に基づき EH&S に関する懸念を提起したり、インシデントを報告したりした者に対する報復を禁止しています環境への責任

テラデータは、事業活動、製品、およびサービスによる環境への影響を最小限に抑え、事業を展開するあらゆる地域において、適用される環境法および要件を遵守することに尽力しています。これには、当社の活動に伴う環境リスクや影響に留意し、それらのリスクが適切に管理されていない可能性がある場合には懸念を表明することが含まれます。当社は、従業員が、自身の役割に応じて、テラデータを代表して意思決定を行う際に、責任ある環境慣行を支持することを期待しています。これには以下が含まれます：

- ・ 資源を責任を持って使用し、可能な限り廃棄物(エネルギー使用や出張に伴う影響を含む)を削減する方法を模索すること。
- ・ 製品の環境コンプライアンス、電子機器の再利用・リサイクル、および該当する場合の持続可能な調達に関する要件を含め、責任ある製品およびサービスの取り組みを支援すること。
- ・ 環境に害を及ぼす可能性のある活動や、環境要件に違反する活動に気付いた場合は、懸念を表明すること。

また、テラデータは、サプライヤーおよびビジネスパートナーに対し、当社の環境基準を満たし、当社の「サプライヤー行動規範」および適用される法令を遵守することを求めています。テラデータの環境およびサステナビリティプログラムに関する詳細情報は、<https://www.teradata.com/about-us/environmental-social-governance> でご覧いただけます。

人権

テラデータは、国際的に認められた人権を尊重しており、当社の取り組みは、「ビジネスと人権に関する国連指導原則」や国際労働機関(ILO)の中核的労働基準を含むグローバル基準に基づいています。この取り組みは、従業員、請負業者、サプライヤー、ビジネスパートナーを含む、の事業活動およびバリューチェーン全体に適用されます。当社は以下を厳格に禁止しています：

- ・ 強制労働、債務労働、または義務労働、人身取引、およびあらゆる形態の現代の奴隷制。
- ・ 児童労働および若年労働者の搾取。
- ・ 雇用または取引のあらゆる側面における違法な差別、ハラスメント、または報復。

当社は、安全で健康的な職場環境を含む公正な労働条件の提供に努めており、適用される場合には、結社の自由および団体交渉権に関する法的権利を尊重します。

当社は、テラデータ社内であるか、サプライヤー、請負業者、顧客、その他のビジネスパートナーに関わるものであるかを問わず、誰もが人権に関する懸念を提起することを奨励しています。テラデータは、善意に基づいて懸念を提起した者に

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

対する報復を禁止しており、当社は懸念事項を検討し、適切な措置を講じます。これには、当社が引き起こした、寄与した、または悪影響に直接関与している問題について、是正に取り組むことも含まれます。

イノベーションの追求

イノベーションと業務遂行における敏捷性は、企業としての私たちのベースになっています。私たちは、この基本原則と、当社の最も重要な資産のひとつである所有者情報を保護する必要性とのバランスを保っています。私たちは皆、テラデータの所有者情報を管理するための規則に協力して従う必要があります。私たちの、個人としての、また、会社としての、将来的な達成は、私たちの蓄積されたアセット、知識、トレーニングという基盤の上に築かれています。テラデータの知的財産権を守ることは、本質的に大切なことです。私たちはまた、他者の知的財産権を理解し、尊重しなければならず、また、これらの権利を、意図的であれ、また意図的ではなくとも、侵害してはいけません。

機密情報

情報はテラデータの重要な資産です。情報とは、知的財産その他の保護された情報を含みます。例えば以下のようなものです。

営業秘密、その他の機密情報、商標、および著作権発明、特許出願、技術記録などを含む研究開発

ネットワーク管理情報

ビジネス、マーケティング、サービス計画

顧客および潜在顧客の個人情報

価格設定やその他の見積もり、提案書、契約条項

合併買収候補

未発表の財務計画、データ、報告書、予測

テラデータ認定プログラムの試験・テスト資料文書化された非開示契約あるいは秘密保持契約を対象とした情報

相互連携する当社の職場においては、情報共有が必要な一方、私たち全員がテラデータに所属する情報を保護し、承認を受けていない者の目に晒さないようにして、情報が確実にテラデータの正規のビジネス目的にのみ利用されるようにする必要があります。また、顧客やビジネスパートナーなど、私たちが取引を行う企業に所属する機密情報も、未承認の開示や利用から保護せねばなりません。

また、当社の仕事の過程で、社員の中には、同僚、顧客、ビジネスパートナーなどによりテラデータに委ねられた個人情報（例えばプライバシー法で保護されている情報）へのアクセス権を持つ者もいます。職務によってそのような種類の情報へのアクセス権を得たときには、注意や敬意を払い、すべての法的要件に従って確実に情報を扱うよう、すべての合理的な予防策を取らねばなりません。当該情報は正当な業務目的でのみ使用され、業務遂行のために知る必要のある者のみがアクセスできるようにする必要があります。この情報は同僚であっても共有できず、適切な承認なしには国外へ送ることもできません。機密情報や個人情報を含むすべての文書やメールには「テラデータ機密情報」というラベルを貼る措置を取ってください。

機密情報には必ずしも印が付いているとは限らないため、利用や開示が適切かどうか迷う場合には、情報を利用または開示する前に、情報保護に関して適用すべきテラデータポリシー（CMP 1402 や CMP 204 など）を参照し、直属のマネージャーあるいはテラデータの法務組織に確認してください。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

第三者知的財産権

テラデータは、ベンダー、サプライヤー、競合他社の知的財産を尊重し、また、他のパーティーがテラデータの知的財産を尊重することを期待しています。テラデータの社員のそれぞれは、正当にライセンスを取得したソフトウェアやその他の知的財産を使用しなければなりません。当社の社員は、テラデータの調達部ないし IT チームに知らせず、あるいはその承認なしに、ソフトウェアやその他の知的財産をダウンロードしてはいけません。営業・マーケティング資料や Teradata のコードベースなど、Teradata が作成するあらゆる資料において、ストックフォト、音楽、オープンソースのコードやテキストを使用することは、会社にリスクをもたらす可能性があることを認識しておく必要があります。プレゼンテーションやその他のメディアに組み込む前に、テラデータやそのベンダーが適切なライセンスや、そうした素材を使用する権利を持っていることを確認しなければなりません。

状況によっては、Teradata の知的財産に関連して、多くの場合無料で入手可能なオープンソースのコンピュータコードを使用する場合があります。しかしライセンスの期間において、関連する(あるいはまったく関係すらない)テラデータの知的財産であるオープンソースのコンピュータコードの一部が、パブリックドメインとして公開される可能性を含んでいるのです。これは、仮にオープンソースのコンピュータコードが私たちの商品に特定の方法で埋め込まれていたり、誤用を防ぐために定められた所定の要件を満たさない形で使われたりしている場合において、とりわけ注意の必要なことです。

テラデータは知的財産およびオープンソースコンテンツにおける方針、実例および手続きを採用および適用する。このような活動に関わる社員はこれらを熟知し、かつ遵守しなければならない。知的財産またはオープンソースコンテンツについて質問がある場合は、直属のマネジャーまたはテラデータの法務組織に問い合わせてください。

テラデータ認定プログラム当社は、テラデータ製品に関する専門認定資格を取得するために必要なリソースを提供しています。認定試験を受験する方は、試験学習資料を入手する前、および試験を受験する前に、テラデータ認定セキュリティポリシーを熟読し、その内容を理解しなければなりません。認定試験の内容(問題および解答選択肢の両方)はテラデータの知的財産の一部であり、いかなる方法においても第三者と共有または議論してはなりません。当社の専有資料を複製、配布、投稿、受信、ダウンロード、購入、または販売する個人または団体は、法律、テラデータの権利、およびテラデータのポリシーに違反しています。従業員は、かかる行為に関与してはなりません。そのような資料を発見した場合は、certification.teradata@teradata.com まで報告してください。プライバシーとデータの保護

テラデータは、顧客とテラデータの社員から信頼と尊敬を集める企業としてふさわしい評価を得てきました。私たちは、個人情報を含むデータの機密情報、整合性、利用可能性などを保護して、勝ち得た信頼や尊敬を維持し続けなければなりません。私たちひとりひとりが機密データの処理や取扱いに関する一連の関連手続きに従わねばなりません。例えば

正当なテラデータの事業目的および関連する期間のために、許可を受けた者のみアクセスできること(例:法的、合理的観点から必要最低限のテラデータの社員およびビジネスパートナーなど)

パスワードや、パスワードでアクセスできるテクノロジーを厳重に守ること

未確認あるいは未認証者がデータ、ファンド、承認へのアクセスを試みるときに即座に役立つ、プリテキストティングやフィッシングなどという試みに対する衝動を抑えること

当社のデータ管理ポリシーと情報保護基準に従って、あるいは遵守して、慎重なバックアップを行うこと

テラデータまたはその顧客の機密データを個人の電子メール/デバイスに送信しないこと

データセキュリティの問題、違反または侵害に気が付いた場合は、何らかの損傷がそれ以上広がらないように対応し、適用法令あるいは契約の定めに従って届を出すか情報を公開して、その他のデータやプライバシー保護の法令に従う措置をできるだけ迅速に、完全に講じられるよう、どんなに些細なものでもテラデータと顧客に対し即座に報告する義務があります。データセキュリティの侵害を無視するという事は許されません。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

私たちは皆、グローバルプライバシーステートメント (<https://www.teradata.com/Privacy>) の規定を読み、理解し、遵守せねばなりません。全テラデータ社員は、最高水準のデータ保護を維持する上で重要な役割を担っています。仕事で接する個人情報の使用方法について疑問がある場合は、テラデータのプライバシーオフィスにお問い合わせください。プライバシーオフィスのガイダンスは、[こちら](#)でも参照できます。

AI(人工知能)

AI は、テラデータの業務において、私たち全員にとつともないチャンスをもたらし、効率を大幅に向上させます。生成 AI などの AI ツールやテクノロジーは、私たちの働き方、データに基づく意思決定、顧客に提供するサービスの向上に革命を起こす可能性を秘めています。ただし、大きな可能性には責任も伴います。テラデータでは、私たちの仕事とビジネス成果の質、生産性、全体的な価値を向上させるために、AI を責任を持って活用することを優先しています。

したがって、すべての Teradata 従業員は、AI の利用において勤勉さ、慎重さ、責任感を持って行動し、AI 利用規定および AI の利用方法に関するガイダンスに従うことが推奨されます。

AI を利用する際は、常に以下の主要なリスクを考慮してください: 倫理的な使用

データの機密性、ガバナンス、管理

データセキュリティ

セキュリティ慣行

所有権と著作権

内容照合

サードパーティのリスク管理

偏見

AI SteerCo は、AI に関するご質問にいつでもお答えします。

業界のトップにのぼること

テラデータでは、もうひとつの当社の基本原則である顧客と市場の重視を実践しています。私たちは積極的に競争していますが、公正かつ適切な姿勢で競争しています。私たちは、公正な競争のための規則やベストプラクティスに従います。私たちは、全てのマーケットセグメントにおいて、ワールドクラスで、かつ最高クラスであることを目指して努力します。同時に、私たちは、個人としても会社としても誠実さが私たちのミッションの基盤であることを忘れてはいけません。

公正に競う

テラデータは、どこで活動しようとも、価値、革新と製品の品質、サービス、人々、そしてビジネス上のパートナーに基づいて成功することをお約束します。私たちは、反トラスト法または公正競争法を含む、競争や企業のグローバル展開の自由化を保護するための法令を遵守します。

公正競争法の元で、私たちは競争を制限しようとするいかなる競合相手とも協定を結ぶことはいたしません。不正協定は必ずしもサインされた契約書であるとは限りません。場合によっては競合間の口頭での約束のようなシンプルな事もあります。競合間におけるいかなる調整や談合も深刻であり、あなたとテラデータを危険にさらします。

違反の報告や懸念の提起については

[テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください](#)

teradata.

競合相手と対話をする場合は、絶対に以下のような内容について提案したり、話し合ったり、指摘したりしてはいけません。

商圈の分配

顧客の分配

顧客に固定または一定の金額を請求すること

サプライヤーに固定または一定の金額を支払うこと

同じまたは類似した割引価格、販売期間、販売条件を提供すること

下請けの再販業者の要求固定または一定の再販価格の請求

特定の顧客やサプライヤーをボイコットすること

特定の入札を誰が落札するかについての合意

競合相手との会話の中でもし次のような話題が持ち上がったときは、あなたは直ちに会話を中断し、可能な限りはっきりと拒絶の意志を伝え、即座にテラデータの法務組織に報告してください。

業界団体や展示会に参加する

業界団体、会議や展示会は関係づくりやビジネスの発展のチャンスとしても素晴らしいものですが、同時に法的や倫理的な問題に直面する可能性もはらんでいます。こうしたイベントに参加する場合は、不正な談合の持ちかけなどを受けないようにも、十分注意を払ってください。もしあなたが公式非公式を問わず、このようなイベントにおいて、競合他社間で反競争に関わる話し合いが行われていることに気が付いた場合、その場を離れて法務組織に連絡してください。

顧客と公正な関係を保つ

テラデータは最上級の顧客貢献とサービスで知られています。この評判を維持するためにも、私たちはお客様と公正な関係を保つ必要があります。

一般的には、公正競争法によってテラデータは取引先の会社を選択することが認められています。しかし、これらの決定は案件ごとに個別になされるべきであり、また競合他社との間に合意や談合が行われては決してなりません。

顧客と公正な関係を保ち、かつ競争法や公正取引法に抵触しないための活動の一環として、私たちは次の事項を決して行いません。

私たちの競合商品やサービスに関して、誤った、根拠のない、または誤解を招く内容を発信したり、または誤った、根拠のない自社商品、サービスとの比較を行うこと

守ることができない、またはそのつもりもない公約や約束をあなたもしくはテラデータが行う事

価格が明らかに異なる類似する商品を、類似する条件で、かつ同一地域で同一期間に同一の販売量でそれらと比較することができる同じ顧客に対して販売すること競合の顧客に対して明白に偏りのある価格提示をし、商品やサービスの客観的な違い、販売時期、販売地域、期間、販売量などに基づいてそれが正当化されない場合、またはそれに近い状態にある時、反競争な価格設定の違反として、違法となる場合があります。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

顧客に公正に対応する方法に関して疑問がある場合は、対応する前に法務組織に指示を仰いでください。

市場支配力を乱用しない

公正競争法は、市場支配力を持つ会社が、革新や競争をさせないようにすることも禁じています。市場支配力の乱用を防ぐため、私たちは以下項目について避けなければなりません。

自社商品及びサービスの原価割れ販売競合を市場から排除する目的での価格設定

特定の商品及びサービスの購入を限定して商品の追加購入を要求すること

顧客が当社の製品を購入することを約束した場合に、法務組織の事前許可なしに、当社も顧客の製品の購入を約束するという顧客との互惠取引を行うこと

法務組織の事前許可なしに、排他的取引の(独占的な)手配を行うこと

ビジネス・インテリジェンス

競合他社の活動に関する正確な情報を得ることは必要であり、あなたの仕事の一部です。このような情報は、倫理的に、正規の情報源から得るようにします。これには一般的に入手可能な文書、アナリスト、出版物、インターネットなどを含みます。

しかしながら、不正な方法で情報を得ることによって競合優位性を得てはいけません。贈賄、スパイ行為、なりすまし、その他の不法あるいは倫理に反する行為など、いかなる手段によっても機密企業情報や企業秘密を盗んではいけません。すなわち、ひとつには、誰かに彼らが他社と結んだ秘密保持契約に違反する情報を共有するよう頼んだり唆したりしてはいけません。何者かが一方的に機密情報を送ってきた場合は、直ちにテラデータの法務組織に連絡してください。

テラデータは公正に、積極的かつ合法的に競争を行います。あなたがテラデータの競合他社の元社員である場合は、現在のテラデータにおける職務と関連のあるあなたの元の従業員向け機密情報または企業秘密を開示または利用してはいけません。同僚やマネジャーからそうした情報の共有を求められた場合も、応じてはいけません。

倫理・コンプライアンスの連絡先およびリソース

テラデータ倫理ヘルプライン

電話: 24 時間フリーダイヤル **866-455-0993**(米国以外では AT&T ダイレクトのフリーダイヤルを利用)、オンライン: **www.integrity-helpline.com/tdhelp.jsp** あなたは違反の疑いに関する誠意ある報告や倫理とコンプライアンスに関する懸念や疑問を表明することができます。複数の言語が対応可能です。法規制がない場合には、あなたが望めば、報復の恐れがないよう、匿名で内密に行うこともできます。

テラデータ倫理 E-mail 受信箱

メールアドレス: **E&C@teradata.com** あなたは違反の疑いに関する誠意ある報告や倫理とコンプライアンスに関する懸念や疑問を表明することができます。あなたが望めば、報復の恐れがないよう、匿名で内密に行うこともできます。

テラデータ・ピープル・チーム

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

テラデータ・ピープル・チームの他のメンバーに連絡してください。また、従業員は https://teradataservicehub.service-now.com/thepeoplehub?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0020002 からテラデータ・ピープル・組織に懸念事項を報告することもできます。

Teradata 法務チームテラデータ法務チームの他のメンバーにお問い合わせください。。テラデータの従業員は、Law Hub (<https://teradata.sharepoint.com/sites/LawHub/SitePages/The-Law-Team.aspx>) で法務チームの連絡先一覧をご覧ください。

テラデータ認証プロフェッショナルプログラム

違法あるいは問題のある教材や、疑わしい試験行為、認定タイトルの表現、ロゴ使用などに関する質問の問い合わせ先メールアドレス: certification.teradata@teradata.com

テラデータ内部監査

会計上の不正行為に関するご懸念については、internalaudit.teradata@teradata.com までお問い合わせください。テラデータコーポレートおよび IT セキュリティ

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.

物理的なセキュリティまたは盗難に関する問題については、Global Teradata Corporate Security (Teradata.SAFE@teradata.com) または情報セキュリティの問題については information.security@teradata.com にお問い合わせください。テラデータグローバルポリシー

テラデータの従業員は、当社のグローバルポリシーウェブサイト(<https://teradata.sharepoint.com/teams/policy>)にアクセスすることができ、そこには規範で言及されている各ポリシーが掲載されています。

Teradata.com およびその他のオンラインリソース

Teradata.com では、テラデータのコーポレートガバナンスの方針と実践 ([Teradata.com/About-Us/Corporate-Governance](https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Governance) を参照)、およびテラデータのその他の企業の社会的責任と持続可能性の方針、実践、および取り組み ([Teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility](https://www.teradata.com/About-Us/Corporate-Social-Responsibility) を参照)に関する情報を提供しています。また、テラデータの従業員は、当社の倫理・コンプライアンス Sharepoint サイト (<https://teradata.sharepoint.com/sites/LawHub/SitePages/Ethics-&-Compliance.aspx>)にアクセスすることができます。このサイトには、規範で取り上げられている各トピックに関する参照ガイド、トレーニングビデオ、およびその他の情報が含まれています。

17095 Via Del Campo, San Diego, CA 92127 Teradata.com

Teradata およびテラデータのロゴは、アメリカ合衆国および世界各国におけるテラデータ・コーポレーションや子会社の登録商標です。テラデータは新しい技術や構成要素が利用可能になり次第、継続的に製品を改善します。ゆえにテラデータは事前通知なしに仕様を変更できる権利を有します。ここに記述されたすべての特徴、機能、操作が世界の地域によっては販売されないことがあります。より詳しい情報については、テラデータ代理店に相談するか、Teradata.com を参照してください。ゆえにテラデータは事前通知なしに仕様を変更できる権利を有します。

© 2025 Teradata Corporation All Rights Reserved. 無断複写・複製・転載を禁じます。

違反の報告や懸念の提起については

テラデータ倫理ヘルプラインにアクセスするか、1-866-455-0993 までご連絡ください

teradata.